



小森 伸一（こもり しんいち）

専門：野外環境教育・ホリスティック教育

【主な研究テーマ】 自然・仲間・自分の理解と全人的成長

豊かな自然環境の中で仲間とより深くかかわる体験による学びが、人間の心身の十全な成長と創造的な人生および社会づくりに大切であることについて、その具体的な考え方と実践について研究しています。

【主な担当授業】 野外環境教育学（及びその実習）

耳慣れない「野外教育（野外環境教育）」の理論と実践について学びます。それが本来特別なことでなく、人が生きていく上での基本事項であることを演習を交えて理解します。また、自然の中での環境に配慮した生活術等を、いわゆるキャンプ実習（学外）にて体得します。



鈴木 明哲（すずき あきさと）

専門：体育・スポーツ史

【主な研究テーマ】 体育・スポーツに関する歴史的研究

近・現代における体育・スポーツの歴史を、古い史料を発掘しながら実証し、検討、考察する研究をしています。専門としている時代は第二次大戦後（特に1945年前後）、地域は日本とヨーロッパ（特にオーストリア）です。地味ですが、重要な基礎的研究です。

【主な担当授業】 体育史概論（A・B類）スポーツ史（E類）

「体育史概論」では、教員を志望する人のために、学校の体育の授業について、その発生から今日に至る展開過程を大まかに講義します。「スポーツ史」では、スポーツの種（たね）となる運動の発生から、中世、近代、現代へと至るスポーツと人間の営みを、特に近代を中心として講義します。

【卒業研究の指導について】

体育やスポーツの歴史に関するテーマを設定し、そのテーマに基づく紙媒体資料を図書館、文書館で収集することが要求されます。次に収集した資料をもとに自身の考察を加え、30ページ以上書くことが最低限のノルマです。歴史学研究の手法となります。



奥村 基生（おくむら もとき）

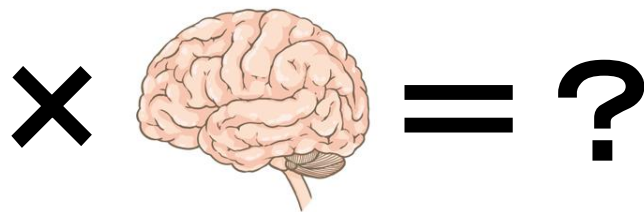
専門：体育・スポーツ心理学
剣道

【主な研究テーマ】 スポーツにおける知覚－運動技能学習

スポーツにおける感覚入力から運動出力までの現象を対象にして技能の熟練過程の研究をしています。

【主な担当授業】 体育・スポーツ心理学

体育・スポーツ心理学における基本的な理論や概念を理解します。また、体育・スポーツの活動において心に生じる現象を理論的な視点をもって観察できるようになります。



田中 愛（たなか あい）

専門：体育原理・スポーツ哲学

【主な研究テーマ】 「できる」／「できない」は、人間の生にどのような意味をもたらすか

何かができるようになることは、私たちの体育やスポーツ活動の内容を豊かにします。このことは、社会の「能力主義」にもつながっています。では、対極にある「できない」ことに意味はないのでしょうか。もしかすると、「できる／できない」が人と人をつなげたり、「『できない』ことが面白い」とも言えるのでは…？そのようなことを、「哲学」と「シットイングバレーボール」の実践から考察しています。

【主な担当授業】 体育原理A/B スポーツ哲学

【卒論】文献による考察
(アンケート調査などの数的な研究は行えません)



身体教育で育てようとしている「身体」とはなにか？この問いは、体育の目的を方向づける大切な問いですが、あまり深くは考えられていないように思います。教育の可能性と暴力性、スポーツ界でのドーピング問題、ジェンダーや障害をはじめとする多様性の問題にも、人々の身体の捉え方が大きく影響しています。「体育原理A/B」では、学校体育に焦点を当て、「スポーツ哲学」では文化としてのスポーツを対象とし、上記した身体に関連する問題群について議論します。



林田 敏裕（はやしだ としひろ）

専門：体育・スポーツ経営学

【主な研究テーマ】 子どもが豊かなスポーツライフを送るために必要な組織や経営とは何だろうか？

「学校から部活動がなくなる！？」、「いろんなスポーツをすることが良い！？」、「勝利至上主義はだめ！？」、「全国大会は廃止！？」といった子どものスポーツに関わる話題が各種メディアで報じられることが昨今多くなっています。このように、子どものスポーツをとりまくスポーツ環境が大きく変わりゆく中で、子どものスポーツライフの功罪の両面に目を向け、子どもたちがより豊かに日々の生活を送るための組織や経営の在り方を探求しています。

具体的には、学校や地域スポーツクラブ、さらには教育委員会等の行政を対象にインタビューやアンケート調査を実施／分析することで、政策や組織に対するエビデンスに基づく提言を行っています。

【主な担当授業】 体育・スポーツ経営学

体育・スポーツ経営学とは、スポーツに関わる「良いこと」を「うまく行う」ための学問です。そのため、授業ではスポーツに関わる「良いこと」とは何か？という規範的内容、「うまく行う」ためにどのような組織（構造や機能）や経営が必要か？という実践的内容を学びます。



鈴木 秀人（すずき ひでと）

専門：体育科教育学
スポーツ教育学

【主な研究テーマ】 ボールゲームのルール、運動部の体罰

バスケットボールではなぜボールを持ったら3歩以上動けないのか、ラグビーではなぜボールを前へパスできないのか、バレーボールではなぜボールをキャッチできないのか等々、各々のルールが存在する理由を探りながら、体育の授業で学習者の実態に合わせてルールを工夫する際、何は変えてよく、何を変えてはいけないのかを考えています。残念ながら運動部の中で繰り返される体罰について、その起源はかつての軍隊にあるという俗説の真偽を、歴史的資料や戦争経験者に対するインタビュー等に基づきながら探っています。

【主な担当授業】 初等体育科教育法、中等保健体育科教育法

小学校や中学校における体育授業のよりよい在り方を考えます。キャンパス内にある附属小学校や附属中学校で授業を観察することもあります。また、運動部の体罰や組体操の事故など、学校教育における運動の実践に関連した様々な社会問題について、みんなで考えることもあります。





高橋 宏文（たかはし ひろぶみ）

専門：運動学
コーチング（バレーボール）

【主な研究テーマ】

コーチング、パフォーマンス分析、運動する力の発達（発育発達）に関する研究

バレーボールにおけるパフォーマンスアップにつながる身体操作方法や動作感覚の分析と、それらのコーチング方法について競技スポーツとしてだけではなく授業におけるバレーボールも含め全般的に研究しています。また、子どもなど成長過程にある人がいかに運動を楽しみ、親しみを持つことができるかという観点から、運動する力を伸ばすための指導方法や実践上のコツ掴む指導方法についてを研究しています。

【主な担当授業】 スポーツ指導論B、C、バレーボール



久保田 浩史（くぼた ひろし）

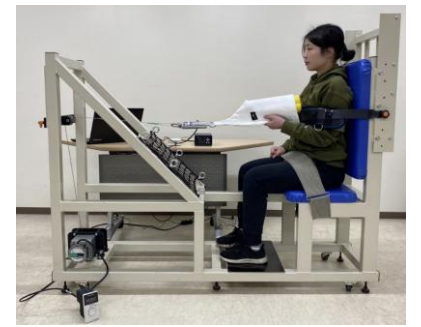
専門：柔道コーチング
体育測定評価学

【主な研究テーマ】 柔道コーチング、体育測定評価学

柔道の効果的なコーチング、授業でのプログラムなどを研究しています。柔道の動きを活かした運動プログラムや、子どもたちに柔道場で体を動かして遊んでもらうなどの実践も行っています。また、スポーツ選手のパフォーマンスを様々な方法を用いて測定し評価することを通して、スポーツパフォーマンス向上に貢献したいと思っています。

【主な担当授業】 柔道、体育測定評価

学校体育における柔道授業の導入部分の工夫や、単調になりがちな柔道の授業に遊び要素を入れて楽しく学習する方法を学びます。体力、パフォーマンス等を測定し、その評価方法を学んだりします。





森山 進一郎（もりやま しんいちろう）

専門：運動方法学
水泳

【主な研究テーマ】

目的に応じたトレーニング法・指導法の開発
女性スポーツ科学（月経とパフォーマンス）

映像やセンサー等を用いてパフォーマンス指標を分析し、トレーニング法・指導法の確立やそれらを授業に適用する方法の確立を目指します。最近では牽引泳・牽引走の研究に取り組んでいます。



月経周期が心身のコンディショニングやスポーツパフォーマンスにおよぼす影響について、実験を伴う定量的な研究やインタビューや調査等による定性的な研究に取り組んでいます。

【主な担当授業】 水泳実技、スポーツコーチング論A

<水泳実技> プール内外での水泳実技を中心に、科学的背景、学習指導要領での扱い、競技規則やプール管理法など、幅広く学びます。



<スポーツコーチング論A> 競技力向上を目指した科学的根拠に基づくトレーニング法について学び、さらにそれらを実践につなげるコーチング法も学びます。



塩多 雅矢（しおた まさや）

専門：運動部活動、体づくり運動
トレーニング、リハビリ

【主な研究テーマ】 トレーニングなどの指導実践

様々な測定機器を用いた運動やトレーニングの評価・モニタリングと、パフォーマンスアップやケガの予防の関係、また実施する選手たちの考えなどの内観を調査しています。すべての部員を成長させたいという心持ちで指導をしており、そこに必要な知識や情報だけでなく、必要とされる指導者像についての調査もしています。

【主な担当授業】

☆解剖生理学：筋肉や骨の名前、それらの働きなど、体の形態や機能

☆体づくり運動：体育の授業で実践するための創意工夫を促す原理

☆スポーツリハビリテーション：ケガの特性や復帰への手順

☆レジスタンスエクササイズ：トレーニングの原理やエクササイズ処方



部活動指導→

←ゼミ活動

※ゼミは2年生から
毎週活動します





新海 宏成（しんかい ひろなり）

専門：スポーツバイオメカニクス
サッカー

【主な研究テーマ】 スポーツ選手の動作分析、サッカーサイエンス

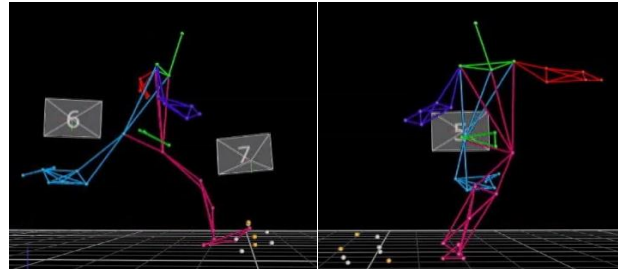
＜動作分析＞ハイスピードカメラやモーションキャプチャシステム等を使ってスポーツ選手の動作メカニズムを解明し、パフォーマンス向上のためのコツや障害予防に繋がる知見を得ることを目指しています。

＜サッカー＞ゲーム分析やトレーニング、コーチング等、チームや選手個人の競技力を高めることに繋がる各種研究に取り組んでいます。

【主な担当授業】 スポーツバイオメカニクス、サッカーA/B

＜スポーツバイオメカニクス＞人間の運動を力学的観点から観察・評価するための理論とスポーツ動作への応用について学びます。

＜サッカーA/B＞足でボールを操作するサッカーの特殊性からくる面白さや難しさを学生自身が体験を通じて理解し、主に学校体育で実践する際の指導法や教材としての自由度について学びます。



仲宗根 森敦（なかそね もりあつ）

専門：運動学
体操競技、器械運動

【主な研究テーマ】 運動感覚に寄り添った指導法の開発

指導の際に必要な、運動のコツやカンといった「言葉にしにくい感覚」をどのように指導し学習者に発生させていくかを、体操競技、器械運動を専門に研究しています。

【主な担当授業】 器械運動A・B、運動方法学総論A・B

・器械運動（A,B）では、体育の授業で行うマットや跳び箱、鉄棒などの指導法を実技を通じて学びます。

・運動方法学総論（A,B）では、運動の指導の際に必要な「観察」や、学習者との運動感覚のやり取りである「交信」の方法論について学びます。



器械運動の授業の様子



岩見 雅人（いわみ まさと）

専門：運動学、体力学、測定評価学、
球技（バスケットボール）、
コーチング学

【主な研究テーマ】 スポーツ・スキルを知る、測る、伸ばす



「素早さ」「力強さ」「滑らかさ」など、ヒトの巧みな運動やスポーツ・スキルについて、様々な測定方法を活用して定量化したり、向上させる方法を研究しています。

また、児童・生徒や選手の主体性を高める効果的な指導法やコーチング法を研究し、科学的な思考力と指導力を併せ持つ指導者養成にも注力しています。



【主な担当授業】 「発育発達学」「バスケットボールA・

『発育発達学』では、少～青年期の心身の成長や発育発達の特徴を理解して、ライフステージに応じた適切なトレーニング方法などを学びます。



『バスケットボール（A,B）』では、競技で必要となる基礎的技術や体力要素を理解し、身体やボールを巧みに扱う方法・指導法を学びます。



齋藤 従道（さいとう つぐみち）

専門：内科学、糖尿病学

【主な研究テーマ】 骨格筋と糖代謝

運動が糖代謝を改善する作用（糖尿病治療への応用も含む）について研究しています。特に骨格筋における糖代謝メカニズムや骨格筋が生体に及ぼす影響についての研究をしています。

【主な担当授業】 運動処方論、スポーツ医学救急処置



- ・健康運動指導士として必要な医学的な知識（生活習慣病の理解や運動指導方法など）を習得し、応用できる人材育成を目指します。
- ・また、学校、民間企業（スポーツ指導者や健康管理部門など）、研究機関などでキャリアアップを目指す場合にも役立つ医学的知識を習得します。



佐藤 耕平（さとう こうへい）

専門：運動生理学、健康教育学

【主な研究テーマ】 運動時の呼吸・循環系の調整機能

運動中の酸素の取り込みや、循環系の調節メカニズムに興味を持ち研究を進めています。特に、運動のコントロールに必要な脳の血流調節機能や、脳血流がパフォーマンスに与える影響を研究しています。また、ゼミの学生は上記内容に関わらず運動生理学・健康教育学全般を対象に研究活動をしています。

【主な担当授業】 運動生理学

運動中のエネルギー消費量、心拍数、血圧の測定などの運動処方に必要な測定技術の習得を目指します。また、得られたデータの解析方法や統計分析についても知識を深めていきます。



佐見 由紀子（さみ ゆきこ）

専門：健康教育

【主な研究テーマ】 保健授業の教材開発・評価

主に、中学校の保健授業において自分も病気や事故にあうかもしれないという「罹患性」の自覚を高める教材を開発し、実践、評価を行っています。

【主な担当授業】 学校保健学AB1,2 中等保健体育科教育法IV

・学校保健学AB1,2

現代の子どもたちの体や心の問題の原因や背景を知り、どう支援・指導するかについて考えていきます。

・中等保健体育科教育法IV

保健授業を自身で作成し、模擬授業を行い、評価し合い、おもしろくてためになる保健授業を探求します。





鈴木 聡（すずき さとし）

専門：体育科教育学
教師教育

【主な研究テーマ】 体育科授業研究と教師の成長

教師の生命線は「授業」です。授業づくりや人が学ぶことに意味、エージェンシーを持つ教師とはいかなるものかについて研究しています。ゼミでは、学部生・院生・現職教員の院生が研究会参加、教材開発を通してナナメの関係でつながります。「ゆるスポDeCö」を創造し、小学校や地域で実践しています。

【主な担当授業】 保健体育科教材研究・事前事後指導A

2年次に開講の「保健体育科教材研究A」では、体育科で扱う教材の意味や価値、教材開発の方法を学び、教材開発の演習も行います。「事前事後指導A」では、教育実習に向けたワークショップや模擬授業演習を行い、実践とリフレクションを通して学びます。



「全ゼミ・ディベート」



「ゆるスポDeCö」



「研究室HP」



鈴木 直樹（すずき なおき）

専門：体育科教育学

【主な研究テーマ】 体育の学習評価に関する研究

体育科におけるICTの利活用に関する研究

体育における真正の学習評価に関する研究に取り組んでいます。また、評価研究と関連して、体育におけるICTの利活用に関する研究や教師教育に関する研究にも取り組んでいます。さらに、国際共同研究に数多く取り組んでおり、海外の研究者とともに協働して研究を進めております。

【主な担当授業】 体育科学習評価論・初等体育科教育法

学習評価論では、体育の学習評価に関する理論や実践の方法について学びます。また、初等体育科教育法では、小学校の体育の授業づくりの基本的な考え方と具体的な授業づくりについて学びます。



体育科研究での評価場面に
タブレットを活用している場面



VR跳び箱

メタバースダンス海外での発表

最新のテクノロジーを活用した授業づくりの
研究にも取り組んでいます(AI, XR技術などの活用)



繁田 進（しげた すすむ）

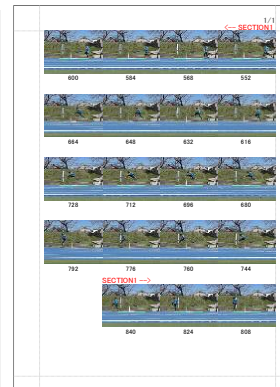
専門：運動学（陸上競技）

【主な研究テーマ】 陸上競技に関する研究

初心者からトップアスリートまでを対象に陸上競技に関する研究をしています。特に、混成競技に関するテーマを中心に研究活動を展開しています。

【主な担当授業】 陸上競技実習、学校スポーツ指導演習

陸上競技（短距離、ハードル、リレー、中長距離、走り幅跳び、走り高跳び、砲丸投げ）における、技能の習得と指導方法習得を目指します。



これで完ぺき陸上競技（繁田進著）より